

科目名 精神看護援助論 I	配当時期 2 年次前期	講義担当者	
時間割表記名 精神看護援助論 I	単位数 1 単位	渡邊健次郎 山下建昭	
	時間数 30 時間(15 回)	橋本 聡	
事前学習内容			
心理学で学習した内容を想起し、活用できるよう準備する。			
精神看護学概論で学習した内容を想起し、活用できるよう準備する。			
授業目標			
精神疾患の病態と治療について理解できる。			
DPとの関連			
DP1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的・霊的に統合された生活者として理解することができる。			
DP2. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。			
DP3. 一人ひとりの多様な価値観や人権を尊重し、倫理観に基づいて看護を実践できる。			
DP5. 自己を理解し、他者を尊重したうえで、人間関係を構築することができる。			
授業の流れ			
回	学習内容と成果	方法	備考
1	1. 精神障害者の理解と看護の基本 1) 精神障害者の理解と考え方 2) 接触の技術 3) 患者看護師関係の理解 4) 観察と記録 5) 病室環境の調整 6) 入院生活上の問題とそのケアの視点(セルフケアと援助)	講義	テキスト①②
2	2. 精神障害の歴史と現状 1) 精神医療の歴史 2) 精神障害者の現状 3) 精神疾患と捉え方 4) 精神障害の原因・分類	講義	テキスト①②
3	3. 精神症状の理解	講義	テキスト①②③
4	1) 意識の障害 2) 注意の障害 3) 知覚の障害 4) 記憶の障害 5) 知能(知的能力)の障害 6) 思考の障害 7) 感情の障害 8) 意思や意欲の障害 9) 自我意識の障害		

	10)身体的訴えや行動面に現れる精神症状		
5 6 7	4. 精神疾患／障害の診断と分類 1)精神疾患の分類:内因・外因・心因 2)アメリカ精神医学会の診断・統計マニュアル(DSM) 3)国際疾病分類(ICD) 4.検査 1)一般検査 2)画像検査:脳波 3)心理検査:知能検査、発達検査、人格検査、認知機能検査 4)脳脊髄液検査)	講義	テキスト①②
8 9	5. 精神科における治療 1)薬物療法 2)電機けいれん療法(ECT) 3)精神療法 (1)個人療法 (2)集団療法 (3)家族療法 4)環境療法・社会療法 (1)作業療法 (2)精神科リハビリテーション	講義	テキスト①②
10	6. 主な精神疾患・障害の理解 1).器質性精神障害 2)精神作用物質使用による精神・行動の障害:アルコール症	講義	テキスト①②
11	3)統合失調症・統合失調型障害及び妄想性障害 4)気分＜感情＞障害	講義	テキスト①②
12	5)神経症性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害 (1)恐怖症性不安障害 (2)強迫性障害(OCD) (3)重度ストレス反応及び適応障害 (4)解離性障害 (5)身体表現性障害	講義	テキスト①②
13	6)生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群 (1)摂食障害 (2)睡眠障害 (3)性機能不全、性同一性障害 7)パーソナリティー障害 8)秩序破壊的・衝動制御・素行障害群	講義	テキスト①②

14	<p>7. 神経発達障害</p> <p>1)知的能力障害／知的発達障害(DSM)</p> <p>2)自閉症スペクトラム障害</p> <p>3)注意欠如・多動性障害(ADHD)</p> <p>4)限局的学習障害</p>	講義	テキスト①②
15	筆記試験(45分)、まとめ(45分)		
<p>受講上の注意</p> <p>○事前・事後学習をきちんと行う。</p>			<p>評価方法</p> <p>筆記試験</p>
<p>使用するテキスト</p> <p>1)系統看護学講座 専門分野 精神看護の基礎 医学書院</p> <p>2)系統看護学講座 専門分野 精神看護の展開 医学書院</p> <p>参考文献</p> <p>1)新体系 看護学全書 精神看護学② 精神障害をもつ人の看護 メジカルフレンド社</p>			